資料1-1

第５回　あるかぽーと・唐戸エリアマスタープラン推進会議

議事1
令和7年度、令和8年度前期
主な取組の報告（ソフト事業）



コンセプトに基づく戦略

【開発コンセプト】
「海峡を遊びこなす、朝から夜までめぐって楽しい、現代日本の港まち」

戦略

① 海峡を遊びこなす
眺める、近づく、触れる等、海峡との接点を生み出す多様な居場所をつくる。
イベント・アクティビティの場、移動手段として海峡を使いこなす。

② 朝から夜までめぐって楽しめる
早朝の市場の活気や、海峡の夜景など、時間によって異なる魅力をつくっていく。
多様な魅力をもったゾーンを動線・サイン・モビリティ等で結びつけ、まちをめぐる楽しみをつくり出す。

③ 港まちらしさにフォーカスする
地場の水産物が楽しめるというのはもちろんのこと、釣りやクルージングといったアクティビティ、船での搬出入の利点を活かした巨大アートなど、港まちらしさや港の強みを活かした体験をつくっていく。

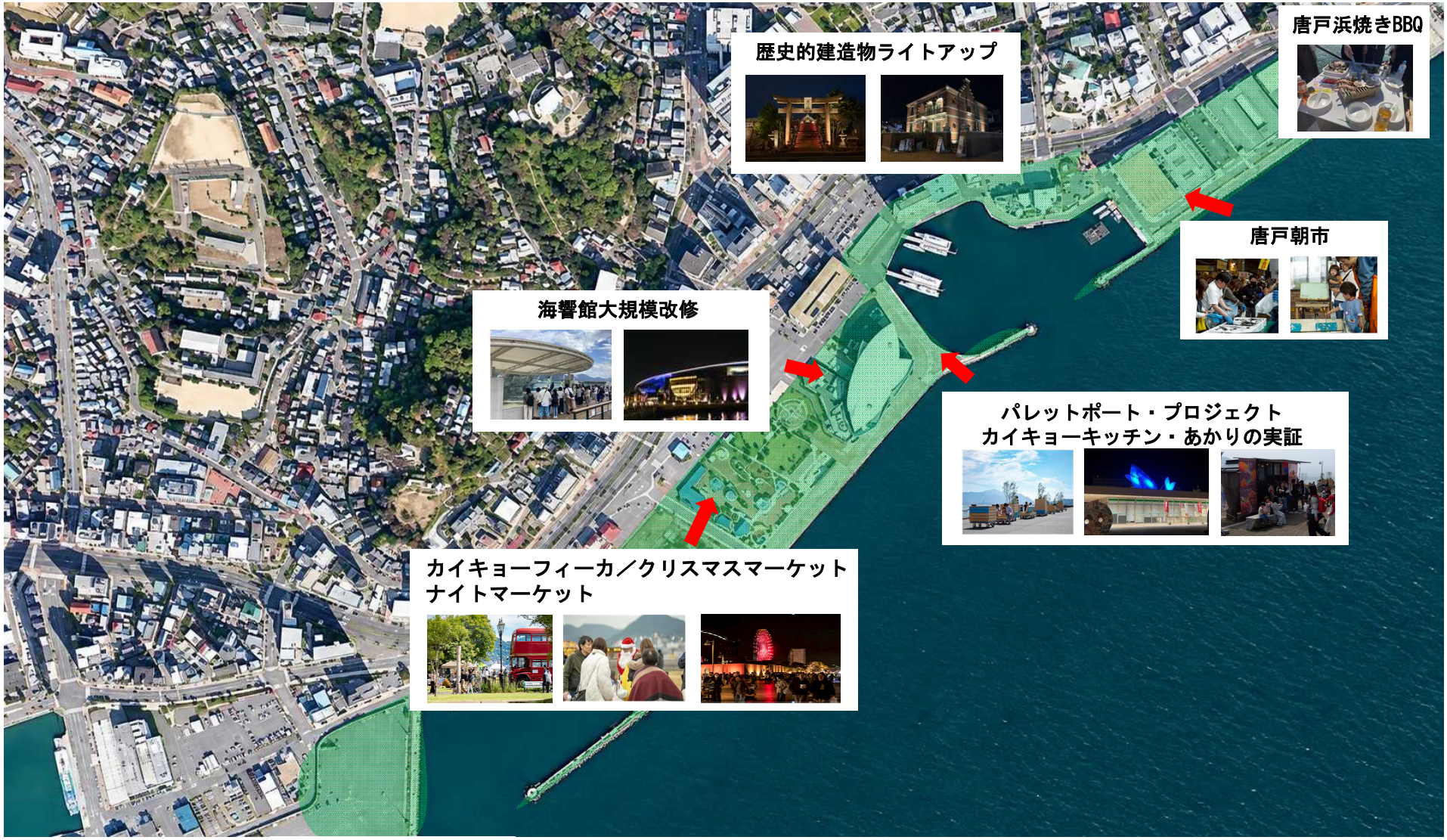
プラン実現に向けた取組：令和5年～令和6年

官民が連携し、各ゾーンで社会実験を実施



プラン実現に向けた取組：令和7年～令和8年前期

官民が連携し、各ゾーンで社会実験を実施



【時間軸】朝から夜まで楽しめる既存コンテンツ

朝	昼	夜
唐戸朝市	海響館	夜の水族館※
活きいき馬関街	カモンワーフ	海峡ファンファーレ※
	はいからっと横丁	

※ 期間限定で開催







【季節軸】既存の四季のイベント

春	夏	秋
維新・海峡ウォーク	夏越祭	源平night in 赤間神宮
しものせき海峡まつり	関門海峡花火大会	下関市緑化祭
先帝祭	馬関まつり	下関海響マラソン
		海響グルメフェス
		下関農業まつり
		下関さかな祭
		リトル釜山フェスタ











【時間軸】朝の活気：唐戸朝市









■実施期間：令和7年6月2日（月）～6月13日（金）
■営業時間：7時～12時
■来場者数：10,110人
■参加店舗：32店舗（全77店舗）

■マスタープランの位置付け

唐戸市場エリアの活性化として、地元の方や観光客が気軽に新鮮な水産物を購入できる機能を検討（P24）

■目的

唐戸市場は本市を代表する観光スポットである一方、市民の利用が減少し、かつての「市民の台所」としての賑わいが失われつつある。唐戸市場の魅力を市民に再認識してもらい、身近に感じてもらう社会実験

■実施内容

- **唐戸市場公式ＬＩＮＥの開設による広報活動**
  期間中3,000人超を達成
- **共同売場を開設し、鯛・ヒラマサ等の特売品を販売**
  生け簀から活魚を水揚げし、捌いて販売
- **唐戸市場内で使用できる300円割引券の配布（各日100枚）**
  朝7：00より配布し、最短12分で配布終了
- **各店舗による朝市限定イベントの実施**
  魚の袋詰めチャレンジ、限定商品、特価販売等、各店舗が工夫を凝らした企画を実施
- **飲食スペースの設置**
  購入した食品をその場で食べられるようベンチを設置

朝の活気：唐戸朝市

■効果検証

１．人流分析

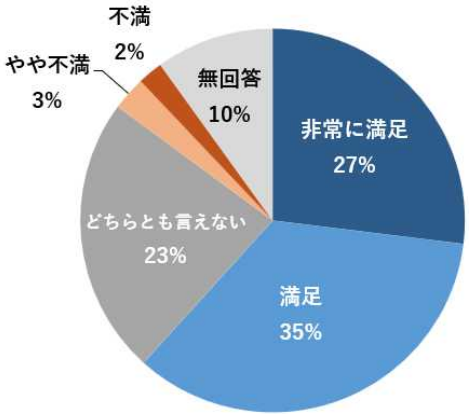
前年同期間比 35%増加

※人流データより（7時～12時）

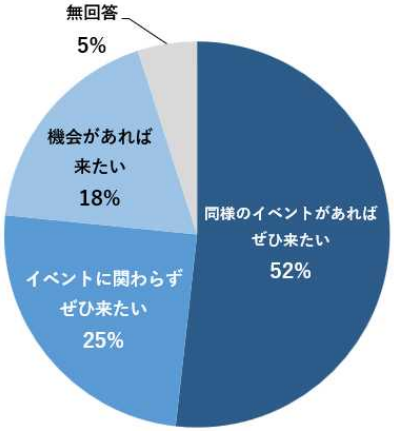
市民の来場の増加　通常時 市民割合 約11%
朝市時 市民割合 約33%

２．来場者、事業者へのアンケート結果

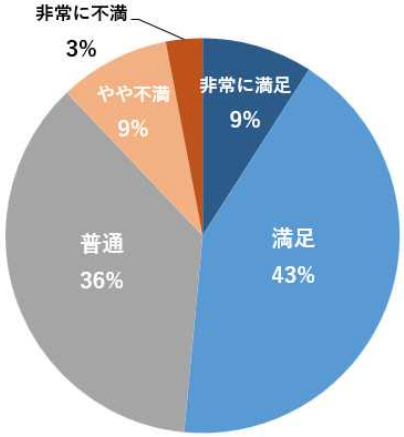
【来場者】満足度：N141



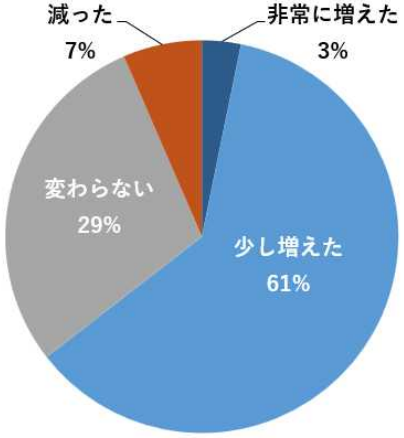
【来場者】唐戸市場への再来訪：N141



【事業者】満足度：N32



【事業者】期間中売上：N32



■実施結果

・唐戸市場業者連合協同組合により、**令和7年11月より定期開催が実現**
毎月第２・第４木曜日　7：00～10：00

・公式ＬＩＮＥを活用し、朝市のイベント情報を発信
魚の詰め放題、量り売りなど朝市限定のイベントを実施

・朝市の定着
実施日は約20%人流が増加（対 第1・第3木曜日比）
※人流データより（令和7年11月～令和8年9月）



昼の賑わい：カイキョーフィーカ









■実施期間：令和7年10月11日（土）～10月13日（月）

■営業時間：10月11日（土）　　11時～20時
10月12日（日）13日（月）11時～17時

■会　　場：あるかぽーと親水緑地

■来場者数：3,000人

■出店店舗：48店舗

■マスタープランの位置付け

商業と融合した憩いと賑わいのある港湾緑地の形成（P30）

■目的

あるかぽーと・唐戸エリアの賑わいの創出及び親水緑地を利活用する事業者の発掘

■実施内容

- **民間事業者が主体となり、企画・運営を実施**
  出店店舗のラインナップ選定も含め民間主導で構成
- **モルック・ワークショップ等の体験型コンテンツを実施**
  遊んで楽しめるコンテンツにより、来場者の滞在時間を延伸
- **パレットポートプロジェクトとの連動**
  モバイルファニチャーを活用し、購入した飲食を関門海峡を眺めながらゆっくり楽しめる空間を演出
- **市内開催イベントとの連動**
  海響館ライトアップ、海響グルメフェスからの回遊を想定







昼の賑わい：カイキョーフィーカ

■効果検証

１．人流分析（前年同期比比較）

あるかぽーと親水緑地　約3.7倍

※人流データより（11時～17時）

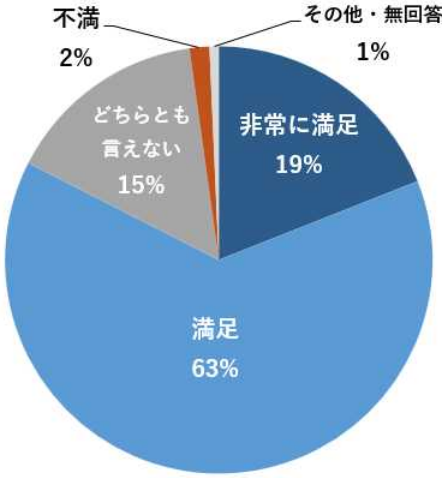
エリア内回遊（前年同期比比較）

・唐戸市場　→緑地　約6.5倍　・海響館　→緑地　約3.3倍

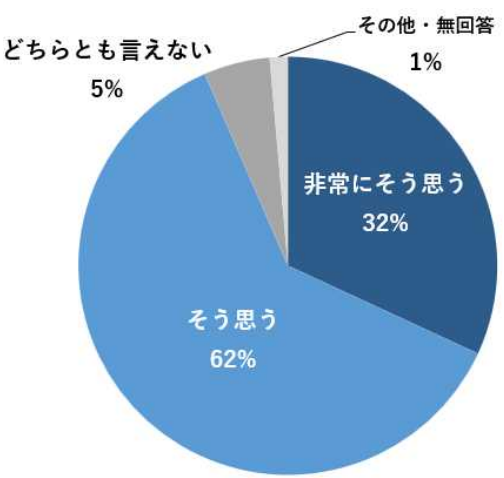
・カモンワーフ→緑地　約4.1倍　・はいからっと横丁　→緑地　約3.4倍

２．来場者、事業者へのアンケート結果

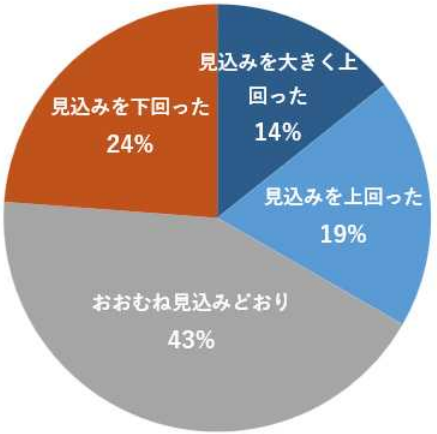
【来場者】満足度：N137



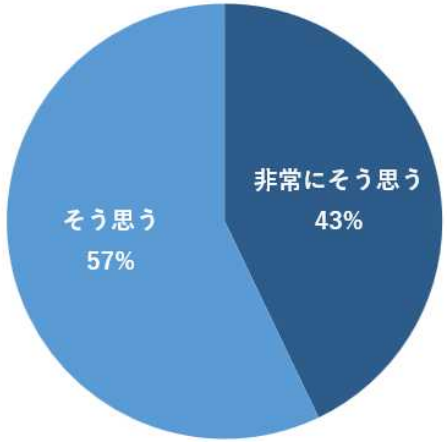
【来場者】また参加したいか？：N137



【事業者】売上：N21



【事業者】魅力的な空間
になったか？：N21



■実施結果

・親水緑地は「商業×憩い」の場として機能し、出店者・利用者双方から高評価(事業者:魅力的な空間100%／利用者:満足度82.5%)

・発掘したプレイヤーを核に、緑地での民間主導イベントの活性化
※民間主導イベント R6:2件　R7:6件
R8（10月時点）:6件

【フィーカ後に実施された民間実施イベントの様子】



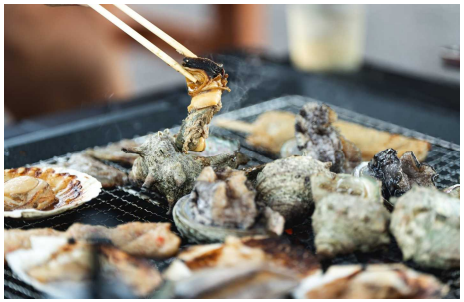




昼の賑わい：唐戸浜焼きバーベキュー









■実施期間：令和8年8月1日（土）
～令和9年1月31日（日）
※雨天・荒天・イベント開催時は中止

■営業時間：10時～21時
※天候などにより変更の場合あり

■会　　場：姉妹都市広場
唐戸市場前物揚場（期間限定）

■マスタープランの位置付け

水産業・漁業をテーマにした体験型コンテンツとして、市場の海鮮を焼いて楽しむ「浜焼きBBQ」の導入（P25）

■目的

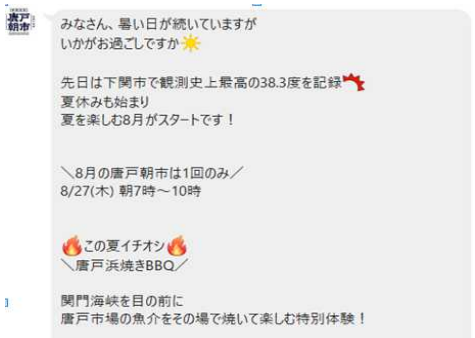
あるかぽーと・唐戸エリアの新たな「水産業・漁業をテーマにした体験型コンテンツ」としての事業化を見据え、平日を含め６ヶ月間、その可能性を検証する社会実験

■実施内容

・**唐戸市場で購入した食材は持ち込み無料**
唐戸市場の新鮮な魚介をバーベキューにする体験

・**会場での食材、飲料の販売**
唐戸市場で仕入れた海鮮に加え、肉類を販売

・**地先事業者と連携したプロモーション**
唐戸市場の公式SNS、下関グランドホテルの会報誌で社会実験の情報発信を実施





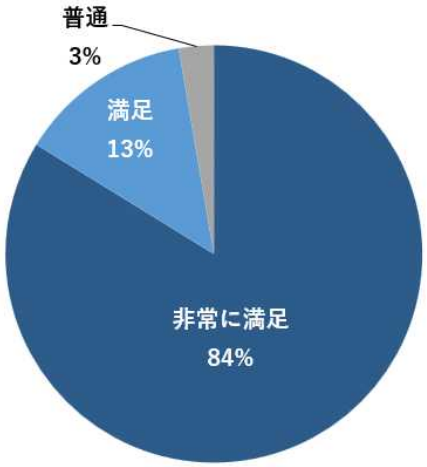
昼の賑わい：唐戸浜焼きバーベキュー

■中間報告

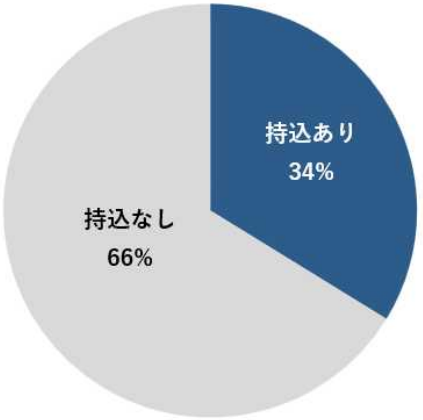
１．来場者数（8月1日～9月30日）
673人

２．来場者アンケート

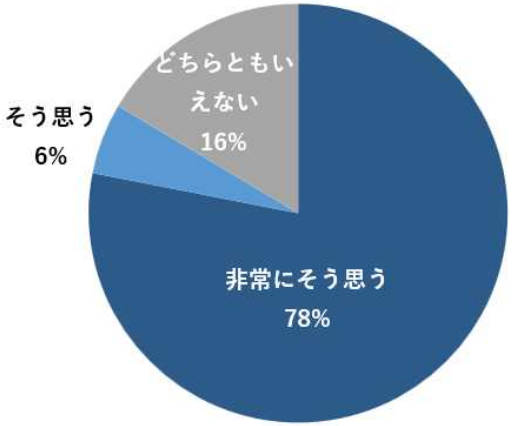
満足度：N74



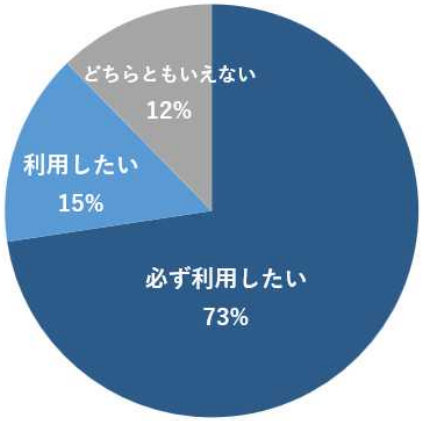
唐戸市場からの商品持込：N74



下関らしい体験：N74



再来場の意向：N74



■事業化に向けた課題

・天候・気候に実施が左右されるため、事業化に向けては市場内等に施設が必要

・観光客向けへの旅マエプロモーションには時間が要する

・食材のＰＲなど市場内事業者との連携

夜の賑わい：カイキョーナイトマーケット









■実施期間：令和8年3月20日（金）～3月21日（土）

■営業時間：16時～20時

■会　　場：あるかぽーと親水緑地

■来場者数：4,200人

■出店店舗：45店舗

■マスタープランの位置付け

夜のコンテンツを拡充して滞在時間を広げる「有効時間の拡張」（P50～53）

■目的

あるかぽーと・唐戸エリアにおけるナイトタイムエコノミーの創出

■実施内容

・**露店、イベント等による賑わいの創出**
飲食、雑貨等多種多様な店舗の出店
ファイヤーショー、スカイランタンリリース
しゃぼん玉ショー、大道芸、ビアフェス等も同時開催

・**地先事業者と連動した取組**
下関グランドホテル：ワインバーの開催
カモンワーフ　　：ライブ＆ダンスステージ





夜の賑わい：カイキョーナイトマーケット

■効果検証

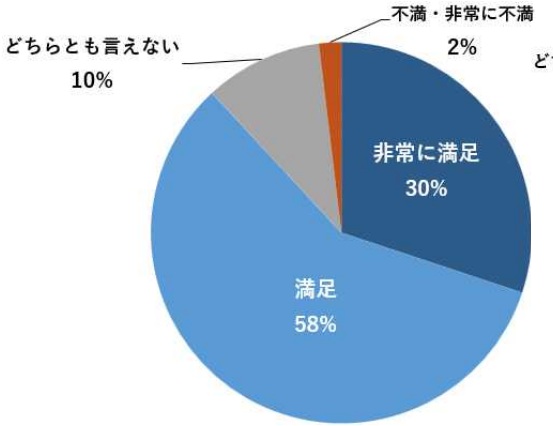
１．人流分析（前年同期比）

あるかぽーと親水緑地：約15.2倍
※人流データより（16時～20時）

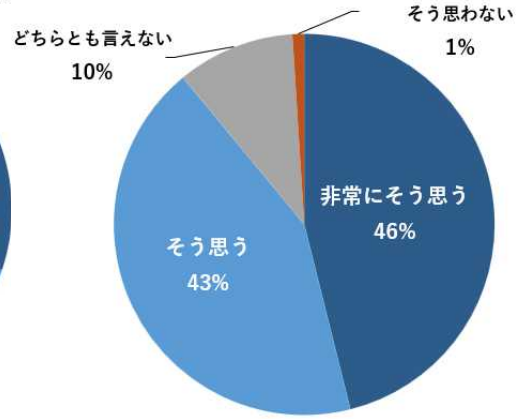
カモンワーフ周辺：約1.7倍　　海響館周辺歩道：約8.2倍
下関グランドホテル周辺ボードウォーク：約10.6倍

２．来場者、事業者へのアンケート結果

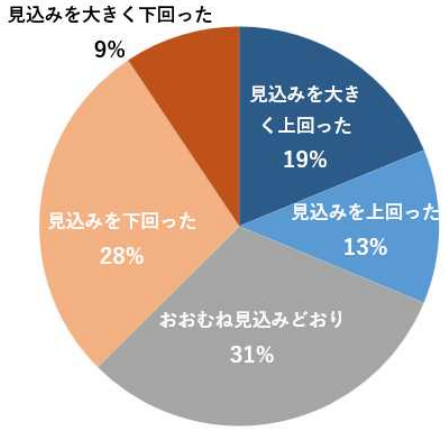
【来場者】満足度：N219



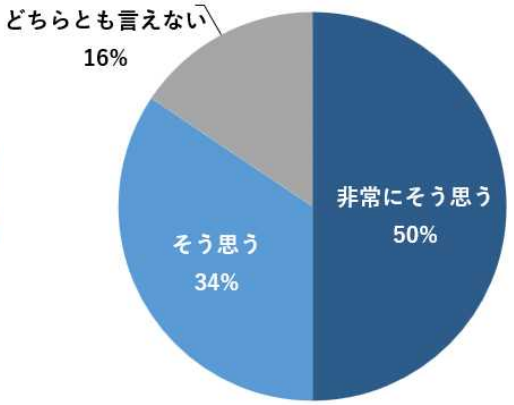
【来場者】また参加したいか？：N219



【事業者】売上：N32



【事業者】再出店の意向：N32



■実施結果

・会場を唐戸親水緑地広場単体でなく、海響館北側歩道（マルシェ）・グランドホテル地先（ワインバー）・カモンワーフ地先（ライブ）と複数の地先事業者の協力のもとに展開し、単発会場型ではなく"面"としてのエリア一体の夜の賑わいづくりを実現した

海峡の夜景：海響館･周辺施設のライトアップ






■歴史的建造物等のライトアップ

■目的

海峡エリアに点在する歴史的建造物等についてライトアップを行い、海峡エリアの魅力的な夜間景観の創出

■実施内容

通常のライトアップに加え、オレンジリボン運動などの普及啓発や、イベントなどに合わせてカラーライトアップを実施

■施工施設：R6：赤間神宮／日清講和記念館
R7：亀山八幡宮／旧英国領事館／大歳神社

■マスタープランの位置付け

夜のコンテンツを拡充して滞在時間を広げる「有効時間の拡張」（P50～53）

■海響館ライトアップ

■目的

海響館の夜間魅力向上と観光客誘致

■実施内容

通常の電球色点灯に加え、毎時(19時・20時・21時)4分間や、記念日等の特別日には、年間計画に合わせたカラーライトアップを実施

■ライトアップ開始

令和7年10月11日（土）



海峡の夜景：あかりの社会実験






■実施期間：令和7年10月6日（月）
～令和8年1月30日（金）

■設置物：くじらバルーン、フラッグ

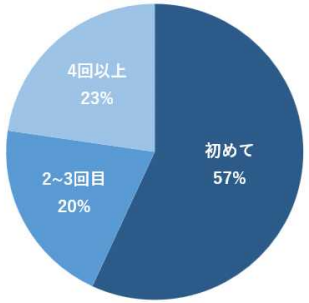
■実施場所：渡船場周辺

■マスタープランの位置付け
船旅のワクワク感を演出するお出迎え感のある玄関口（P24）

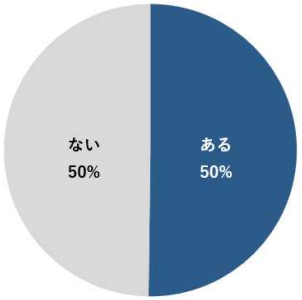
■目的
あるかぽーと・唐戸エリアのお出迎え感を演出するため「くじらのモニュメント」及び「ポールフラッグ」を設置した社会実験

■効果検証
通行者へのアンケート

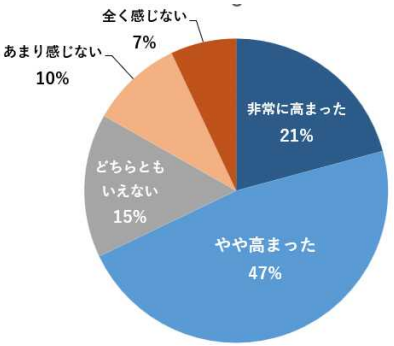
来訪回数：N255



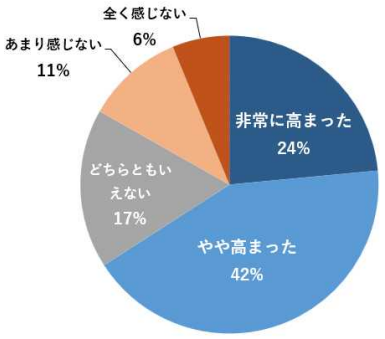
夜の来訪：N255



港町らしさ：N255



お出迎え感：N255



■実施結果
・強風により、一時バルーンを撤去。フラッグについても想定より劣化が激しく、土台も重厚なものが必要であり、設置物については検討が必要

・くじらバルーンについては、観光客の目線に合っていないとの意見があり、設置場所についても検討が必要

【季節】四季の賑わい：市を代表する祭



春　しものせき海峡まつり



春　先帝祭



夏　関門海峡花火大会



夏　馬関まつり

四季の賑わい：市を代表するイベント


秋　しものせき海響グルメフェス



秋　リトル釜山フェスタ



秋　下関さかな祭


秋　下関農業まつり

四季の賑わい：カイキョークリスマスマーケット









■実施期間：令和7年12月13日（土）

■営業時間：15時～20時
（荒天のため11時～16時に変更）

■会　　場：あるかぽーと親水緑地

■来場者数：1,000人

■出店店舗：26店舗

■マスタープランの位置付け

多様なイベントを組み合わせ、どの季節でもエリアの魅力を味わえるようにする(P50～53)

■目的

冬期における恒例行事となるイベントの創出に向けた社会実験

■実施内容（荒天による中止も含む）

・**露店、イベント等による賑わいの創出**
飲食、雑貨等多種多様な店舗の出店

・**クリスマスらしい演出**
約6mのオリジナルツリーの点灯（中止）
人口降雪機による雪遊び（中止）
サンタクロースによるお菓子のプレゼント

・**オリジナルグッズ販売**
オリジナルマグカップ販売による物販収益の可能性を検証（30個限定）





四季の賑わい：カイキョークリスマスマーケット

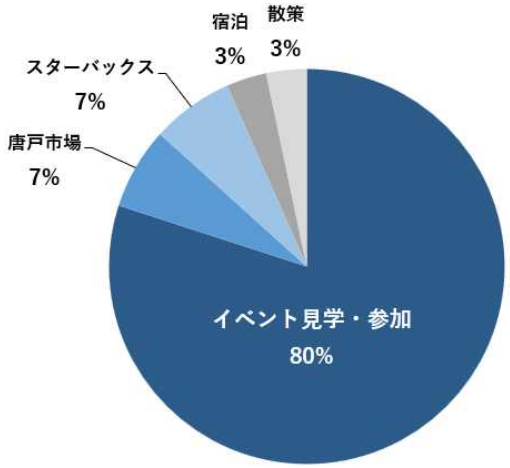
■効果検証

１．人流分析（前年同期比）
あるかぽーと親水緑地　約3.6倍
※人流データより（11時～16時）

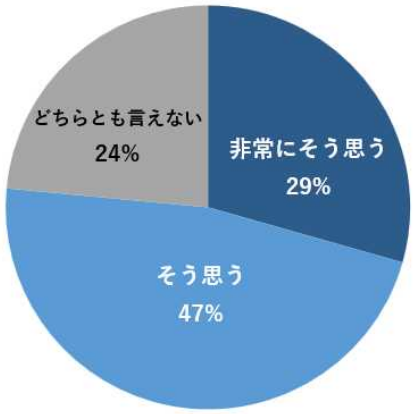
エリア内回遊（各施設から緑地への人流の割合）
・唐戸市場　　→緑地 約37.1%　・海響館　→緑地 約29.0%
・カモンワーフ →緑地 約28.1%

２．来場者、事業者へのアンケート結果

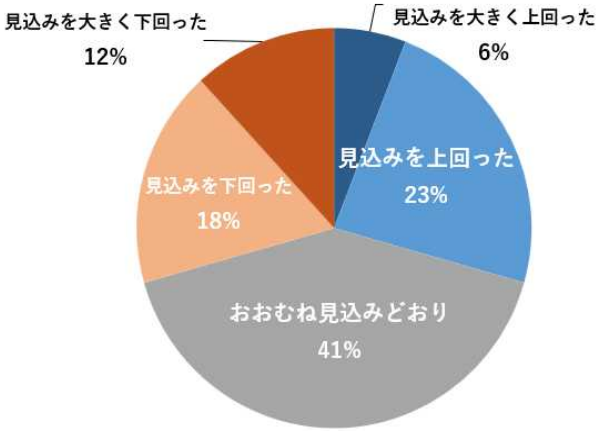
【来場者】エリアの来場目的：N30



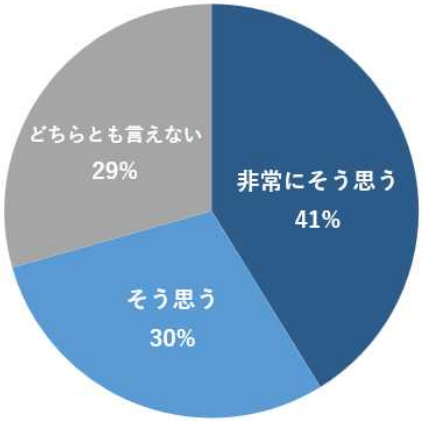
【来場者】魅力的な空間になったか：N30



【事業者】売上：N17



【事業者】再出店の意向：N17



■実施結果

・令和8年12月19日に海峡ファンファーレ、リゾナーレ下関の海峡クリスマスと連動する形でカイキョーキッチン・ナイトバブルを実施し、単発の一過性イベントから、既存の集客コンテンツと組み合わせた「面としてのにぎわいづくり」へ発展させる
・マグカップは早期完売。今後グッズ販売による自主財源の確保も検討していく

【海峡】海峡で過ごす：パレットポートプロジェクト






■マスタープランの位置付け

滞在性を高める憩い機能として、可動式ファニチャーや海峡を眺めて過ごせる空間の導入(p. 30)

■目的

周辺エリアの滞在性を高め、関門海峡の景色を楽しむなど、充実した海峡時間を過ごせる憩いの空間を設けることを目的とした社会実験

■製作したファニチャー










■実施期間：令和7年10月11日（土）

■設置場所：令和7年10月11日～令和8年3月31日
あるかぽーと親水緑地海側
令和8年4月1日～
海響館海側出口付近

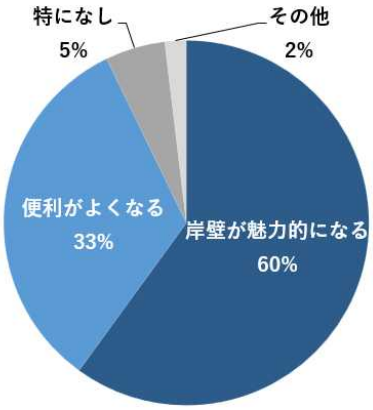
■設置数　植栽プランター16基、ベンチ20基
テーブル8基、ステップテラス1基

海峡で過ごす：パレットポートプロジェクト

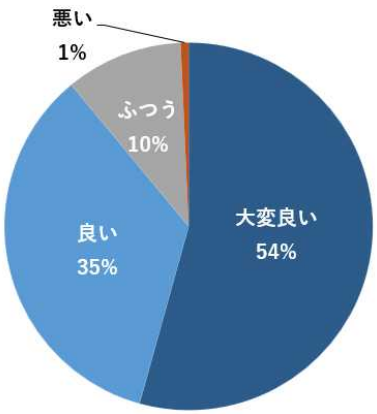
■効果検証

１．利用者アンケート結果

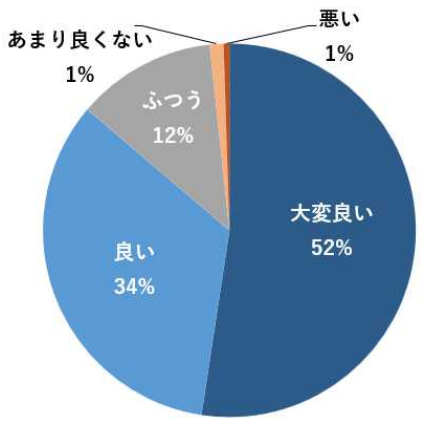
設置による岸壁の印象：N429



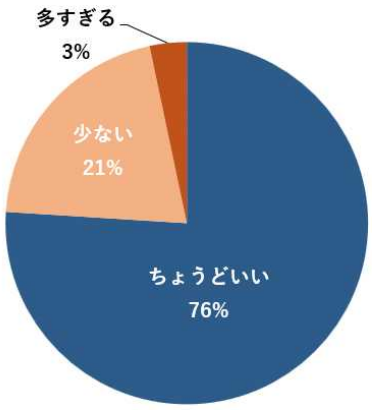
座り心地：N429



デザイン：N429



設置台数：N429



２．荒天等の緊急時の安全対応

荒天時のモバイルファニチャーの退避について検証
・退避に要した時間　11分28秒（4名で対応）
　安全な待避場所等について確認した





■実施結果

・カップルの利用や飲食、読書等、様々なシーンでの活用が確認できた
・大規模な工事を伴わず、設置をすることで通行人を滞在客に変える「滞在誘致効果」が確認できた。





海峡で過ごす：カイキョーキッチン









■実施期間：令和8年3月28日（日）
令和8年8月7日（金）～8月16日（日）
※海峡花火大会前日・当日は除く

■実施場所：海響館出口付近（海側・ボードウォーク側）

■出店店舗：延べ33店舗

■マスタープランの位置付け

モバイルファニチャーやキッチンカー等でプロムナードに連続した賑わいを形成する（P32）

■目的

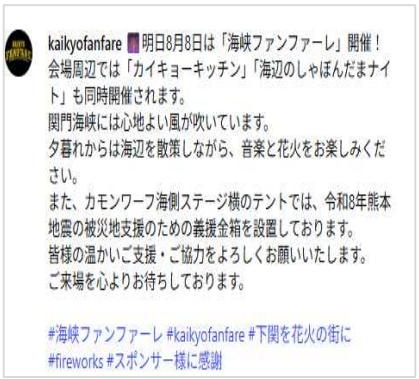
令和7年度に設置した可動式のベンチ・テーブルを活用し、「夜の水族館」など近隣施設のイベント開催にあわせてキッチンカーが出店することで、来訪者に長く滞在いただける場をつくり、海峡沿いの賑わい創出を図ることを目的とした社会実験

■実施内容

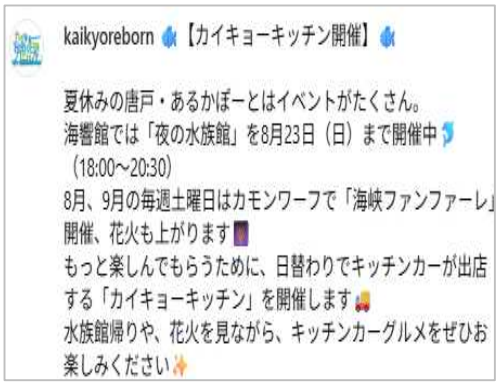
・春休みや夏休み期間中にパレットポート前に日替わりでキッチンカーを配置（8月より出店料：3,000円/台）

・夜の水族館、カイキョーファンファーレ、「海辺のしゃぼん玉ナイト」等、周辺事業者のイベントに連動

・周辺事業者と相互プロモーションの実施


kaikyofanfare 明日8月8日は「海峡ファンファーレ」開催！
会場周辺では「カイキョーキッチン」「海辺のしゃぼんだまナイト」も同時開催されます。
関門海峡には心地よい風が吹いています。
夕暮れからは海辺を散策しながら、音楽と花火をお楽しみください。
また、カモンワーフ海側ステージ横のテントでは、令和8年熊本地震の被災地支援のための義援金箱を設置しております。
皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。
ご来場を心よりお待ちしております。

#海峡ファンファーレ #kaikyofanfare #下関を花火の街に
#fireworks #スポンサー様に感謝


kaikyoreborn 【カイキョーキッチン開催】

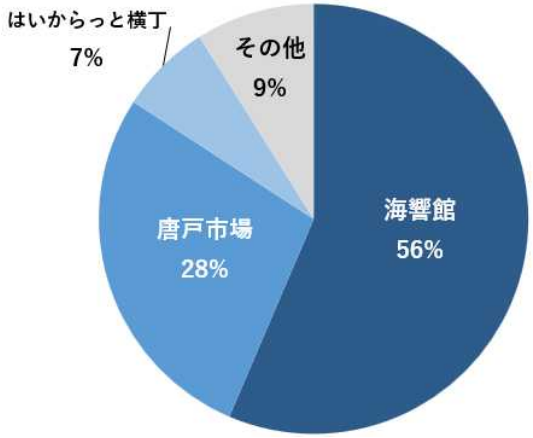
夏休みの唐戸・あるかぽーとはイベントがたくさん。
海響館では「夜の水族館」を8月23日（日）まで開催中
（18:00~20:30）
8月、9月の毎週土曜日はカモンワーフで「海峡ファンファーレ」開催、花火も上がります
もっと楽しんでもらうために、日替わりでキッチンカーが出店する「カイキョーキッチン」を開催します
水族館帰りや、花火を見ながら、キッチンカーグルメをぜひお楽しみください

海峡で過ごす：カイキョーキッチン

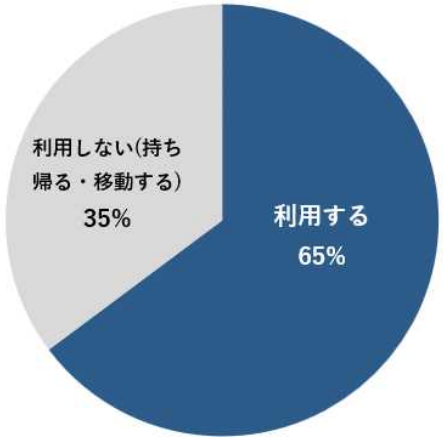
■効果検証

利用者、事業者へのアンケート結果

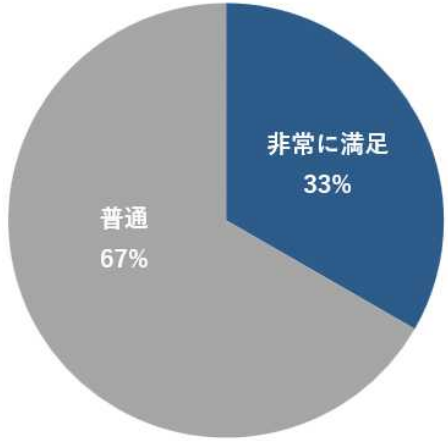
【来場者】来訪目的：N101（複数）



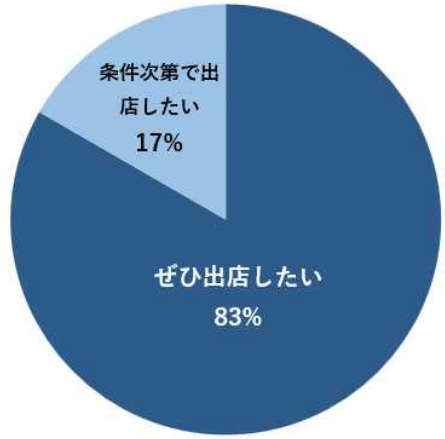
【来場者】パレットポートを利用するか：N71



【事業者】出店満足度：N6



【事業者】再出店の意向：N6



■実施結果

- モバイルファニチャーとキッチンカーによりプロムナードに連続した賑わいの形成が確認できた
- 出店料収入：87,000円　パレットポートの維持費・社会実験費用の一部に充当予定
- 事業者よりキッチンカーの出店のみでは集客は限定的との意見あり
  → 出店時期検討やエリア内のイベントと連携したプロモーションが必要
- 今後、出店料収入を一部をナイトバブル等の誘致に充当し、エリアの賑わい創出と併せ、出店者の出店意欲に繋がる取組が必要
- 12月19日（土）カイキョーファンファーレ（カモンワーフ主催）に併せて、実施予定

推進体制の構築：みなと協議会準備会の立上げ

■目的
日本を代表するウォーターフロントシティに向け、必要な各取組が継続的に実施できる官民の枠組みを創出する

■設立
令和7年7月10日

■構成員
・リゾナーレ下関
・はいからっと横丁
・海響館
・安成工務店
・下関グランドホテル
・カモンワーフ
・唐戸市場
・カイキョーエリアマネジメント
・（オブザーバー）関門汽船

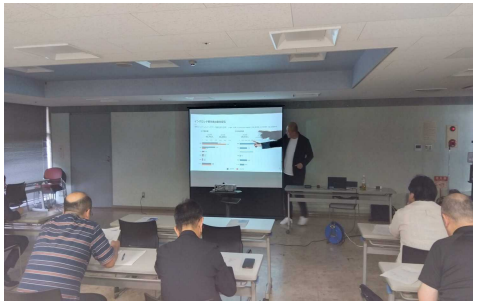
■活動内容
・定例会の実施（令和7年度：9回、令和8年度：8回）
・社会実験の企画・立案・効果検証
・エリア一体でのプロモーション
・エリアの共通テーマの検討

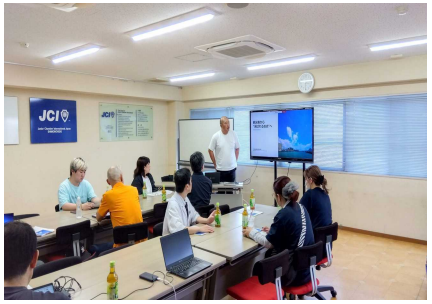


定例会



企画会議





エリア内テナントも含めた情報発信セミナー

推進体制の構築：みなと協議会準備会の立上げ

■推進体制

【令和5年～7年度】

① 推進会議（4回）
推進方針の承認

② デザイン会議（22回開催）
ハードデザイン・ソフト実証の検討

③ カイキョーリボーンプロジェクト実行委員会
社会実験の実行組織

④ みなと協議会準備会
賑わいや稼ぐ力の創出に向け、地域主体で取り組む体制づくり

【令和8年度以降】

① 推進会議（年1回開催予定）
推進方針の承認

② みなと協議会準備会
・データに基づくマーケティングの実施
・効果的かつ持続可能なコンテンツの企画立案・実行
・将来に向けた組織力の強化を図るマネジメント機能の検討（持続可能・エリア拡大）

③ 市
各種データ分析・課題の設定、解決に向けた戦略立案及びマネタイズの構築支援

資料1-2

第５回　あるかぽーと・唐戸エリアマスタープラン推進会議

議事1
令和7年度、令和8年度前期
主な取組の報告（ハード事業）



海響館改修事業

■目的

施設の老朽化対策と新展示「アシカ展示繁殖施設」導入

■リニューアルオープン

令和7年8月1日（金）



■施設概要

名称：ひれあしビーチ

建築面積　17.33㎡

延床面積　101.26㎡

■事業詳細

事業費：32億8,040万円

工　期：令和5年12月～令和7年7月

■期待効果：

年間来館者数（R7.8～R8.7）　742,087人（目標＋14%）





タテミチ（市道唐戸町５号線）



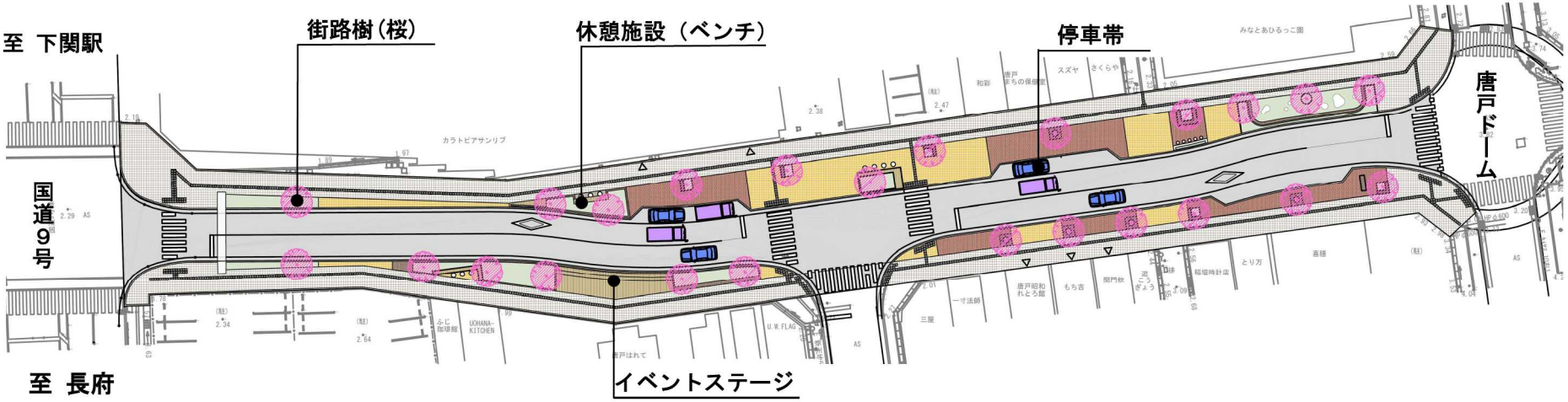
国道９号から唐戸側を望む

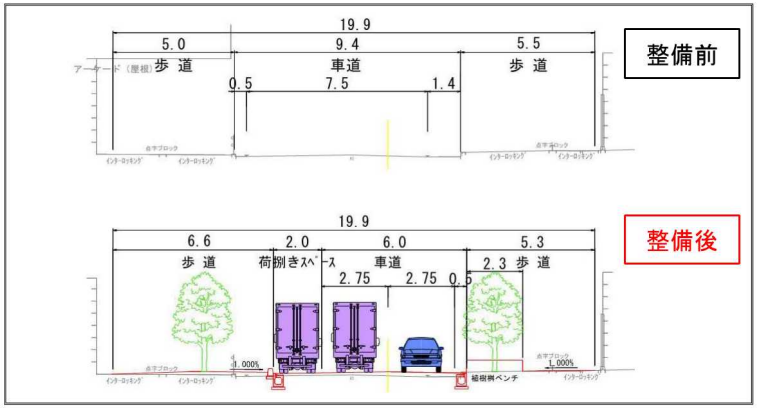


イベントステージ



道路照明と桜のライトアップ





計画内容

- ○歩　　道：安全かつ快適な歩行者空間の確保のため歩道の拡幅
- ○舗　　装：修景整備のためインターロッキング等による舗装の美装化
- ○停　車　帯：車両の一時停車可能な停車帯の新設
- ○街路樹（桜）：既存街路樹との連続性を考慮した桜並木
- ○休憩施設　：市民や観光客の憩いの場となる休憩施設の設置
- ○道路照明　：夜間景観向上のためＬＥＤ照明の設置

唐戸市場臨時駐車場カメラ式導入

渋滞対策の社会実験として運営。令和8年度からカメラ式駐車場とし、平日も含めて運用

1 利用実績

令和7年度
土日祝のみ開設（111日）　16,480台

令和8年度
4月～9月末
5/1～カメラ式・全日運用　17,659 台

GWの1日最大　295台（R7）→ **492台（R8）**

2 カメラ式導入の効果

スムーズな入庫	駐車枠の整備で台数・回転率が向上。GW（5/4）は長府側の車列から入庫まで10～15分（R6 GWの閉場日は1時間弱）
コストの削減	カメラ式での運営により経費を縮減。実行委員会への負担金は13,733千円（R7）から10,000千円（R8）に縮減
データの取得	時間帯別の入出庫台数、滞在時間、ピーク時間帯、地域（ナンバー）、支払方法などの把握が可能となった









議事1
令和7年度、令和8年度前期
主な取組の報告
（中心市街地交通円滑化対策）



〔渋滞対策〕令和７年度、令和８年度前期
中心市街地交通円滑化対策の効果等について

１　超特異日・特異日の対策

・臨時駐車場の設置（唐戸市場横）
・唐戸市場横臨時駐車場の進入路の幅の拡幅　（国道側）
・情報発信、情報提供（まちナビShimonoseki等）
・駐車場間の効率的な誘導（唐戸市場駐車場等）
・周辺駐車場への誘導（市役所駐車場、細江駐車場等）
・観光バスの停車場の確保（岬之町港湾用地）

２　渋滞状況を調査した路線

・国道９号
　下関ＩＣ → みもすそ川町交差点 → 唐戸市場前交差点

・県道下関港線
　下関ＩＣ → 貴船町交差点 → 唐戸市場前交差点

・中通り（市道唐戸町５号線・中之町５号線）
　県道下関港線 → 唐戸ドーム → 唐戸市場前交差点

〔渋滞対策〕令和７年度、令和８年度前期
中心市街地交通円滑化対策の効果等について

３　ゴールデンウイークの最大所要時間と最大渋滞延長の比較

令和５年度、令和６年度、令和８年度の比較

※令和７年度は海響館の休館により対象外

・国道９号

下関ＩＣ → みもすそ川町交差点 → 唐戸市場前交差点

	令和５年度	令和６年度	令和８年度
所要時間	８２分	５４分	５３分
渋滞延長	２，０５０ｍ	７５０ｍ	６３０ｍ

・県道下関港線

下関ＩＣ → 貴船町交差点 → 唐戸市場前交差点

	令和５年度	令和６年度	令和８年度
所要時間	７７分	５２分	５０分
渋滞延長	２，６５０ｍ	１，７５０ｍ	１，８５０ｍ

〔渋滞対策〕令和７年度、令和８年度前期
中心市街地交通円滑化対策の効果等について

・中通り（市道唐戸町５号線・中之町５号線）
　県道下関港線 → 唐戸ドーム → 唐戸市場前交差点

	令和５年度	令和６年度	令和８年度
所要時間	１４分	８分	７分
渋滞延長	１，３００ｍ	８５０ｍ	６００ｍ

４　渋滞対策による効果の解析

・対策前（令和５年度）と比較すると渋滞は大幅に減少
・令和６年度と令和８年度を比較すると路線により渋滞の増減はあるが、大幅な増減はなし
・天候や連休の曜日などが渋滞の延長に影響
・ソフト対策で一定の効果は確認されているが、さらなる大幅な渋滞の減少にはソフト対策では限りがある

〔渋滞対策〕 令和７年度、令和８年度前期
中心市街地交通円滑化対策の効果等について

５　今後のスケジュール

・まちナビShimonosekiによる情報提供、駐車場間の効率的な誘導等の継続

・生活道路への進入抑制対策の継続

・ハード整備については、ロードマップに沿って中長期的な施策推進を図る

・関係機関並びに庁内関係部局との更なる連携を図り施策を実施

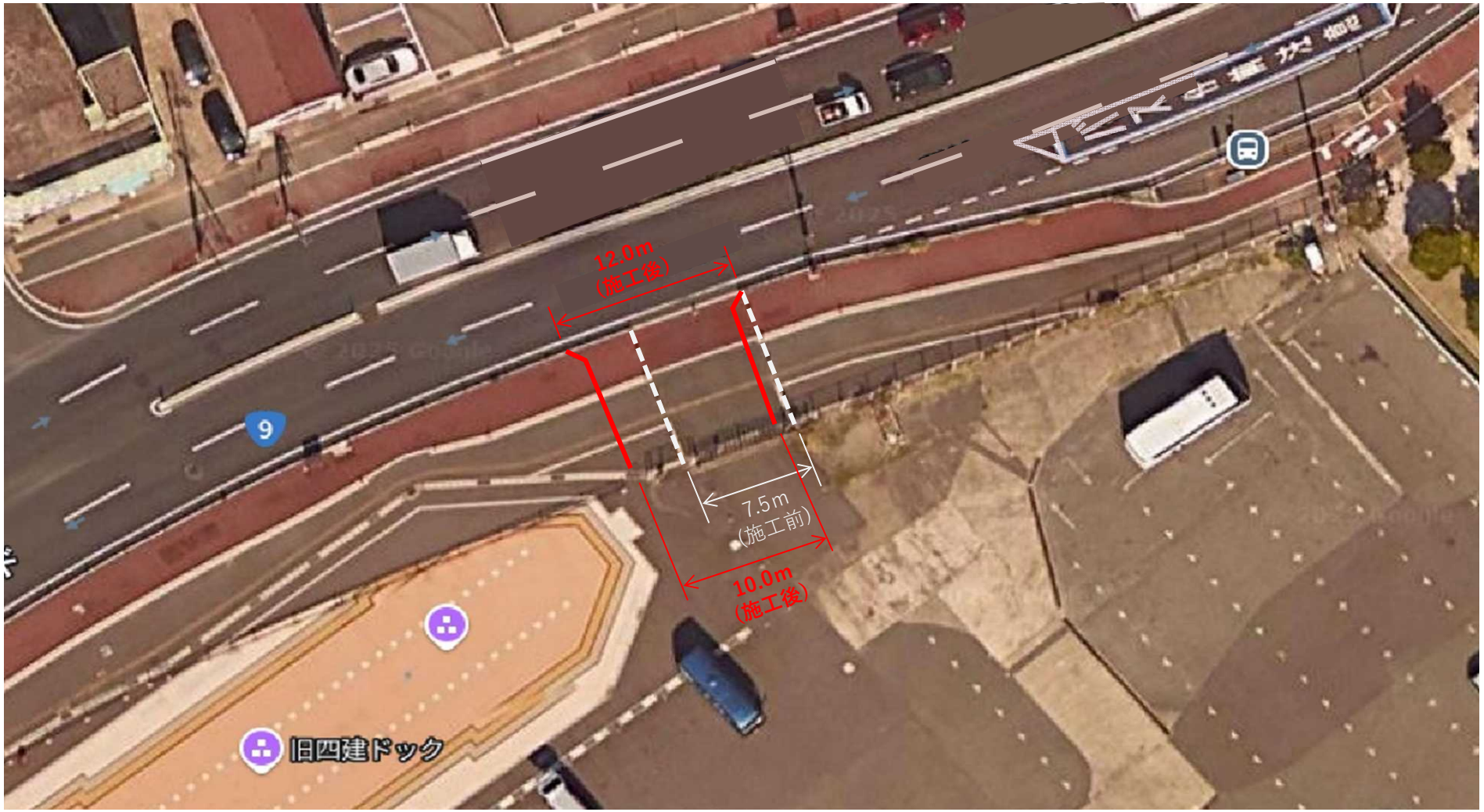
超特異日・特異日の短期施策一覧

施策メニュー	施策	施策概要	担当課	実施期間
③臨時駐車場の運用・拡大	唐戸市場横臨時駐車場の設置	• 唐戸市場横に臨時駐車場を設置	共創イノベーション課 市場流通課	土日祝
	唐戸市場横臨時駐車場進入路の改良	• 火の山方面からの観光バスが臨時駐車場へ直接進入できるよう進入路を改良	都市計画課	R８.2月末完了
⑤情報発信情報提供	駐車場満空表示看板の設置	• 主要な交差点付近や市道において、手持ち看板による空いている駐車場の情報提供と誘導(案内箇所増)	都市計画課	超特異日 特異日
	「まちナビShimonoseki」による情報提供	• 主要駐車場の満空情報をリアルタイムで提供	都市計画課	毎日
	FMラジオ放送による情報提供	• コミュニティFMで渋滞状況や主要駐車場を案内	都市計画課	超特異日 特異日
	「唐戸エリアへはまっすぐよりぐるっと‼」による細江町駐車場への誘導	• SAやPAなどでの細江町駐車場への誘導チラシ配布、デジタルサイネージ表示 • 割引クーポンの発行	都市計画課	超特異日 特異日
	デジタルサイネージによる周知	• 関門トンネル門司料金所付近及び貴船町交差点に設置されているデジタルサイネージに「まちナビShimonoseki」のQRコード等を表示	都市計画課	令和７年度のみ
⑥駐車場間の効率的な誘導	唐戸市場駐車場棟の効率的運用	• 事前精算の徹底や誘導員の配置見直しによる円滑化 • 渋滞時間の表示 • 配置誘導員の増員（GW・お盆期間：3名配置、通常土曜日：1名配置）	市場流通課	超特異日 特異日
⑦周辺駐車場への誘導	唐戸周辺駐車場への誘導看板設置	• 看板および横断幕で唐戸周辺駐車場を案内 • 「まちナビShimonoseki」のQRコードを表示した看板の設置	都市計画課	超特異日 特異日
	大型観光バス誘導	• 観光バス臨時駐車場への誘導 • 近代先人顕彰館前の乗降場所の確保	観光政策課	GWのみ
	市役所立体駐車場の有効活用	• 警備員増員と駐車場入口での満空班版の設置 • 唐戸エリアへは「まっすぐよりぐるっと‼」のチラシ配布	資産経営課	GWのみ
⑬観光バスの停車場の確保	観光バス臨時駐車場の設置	• 岬之町の港湾用地に臨時の観光バス待機場を設置	観光施設課	毎日

情報案内だけにとどまらず複合的な渋滞対策を実施

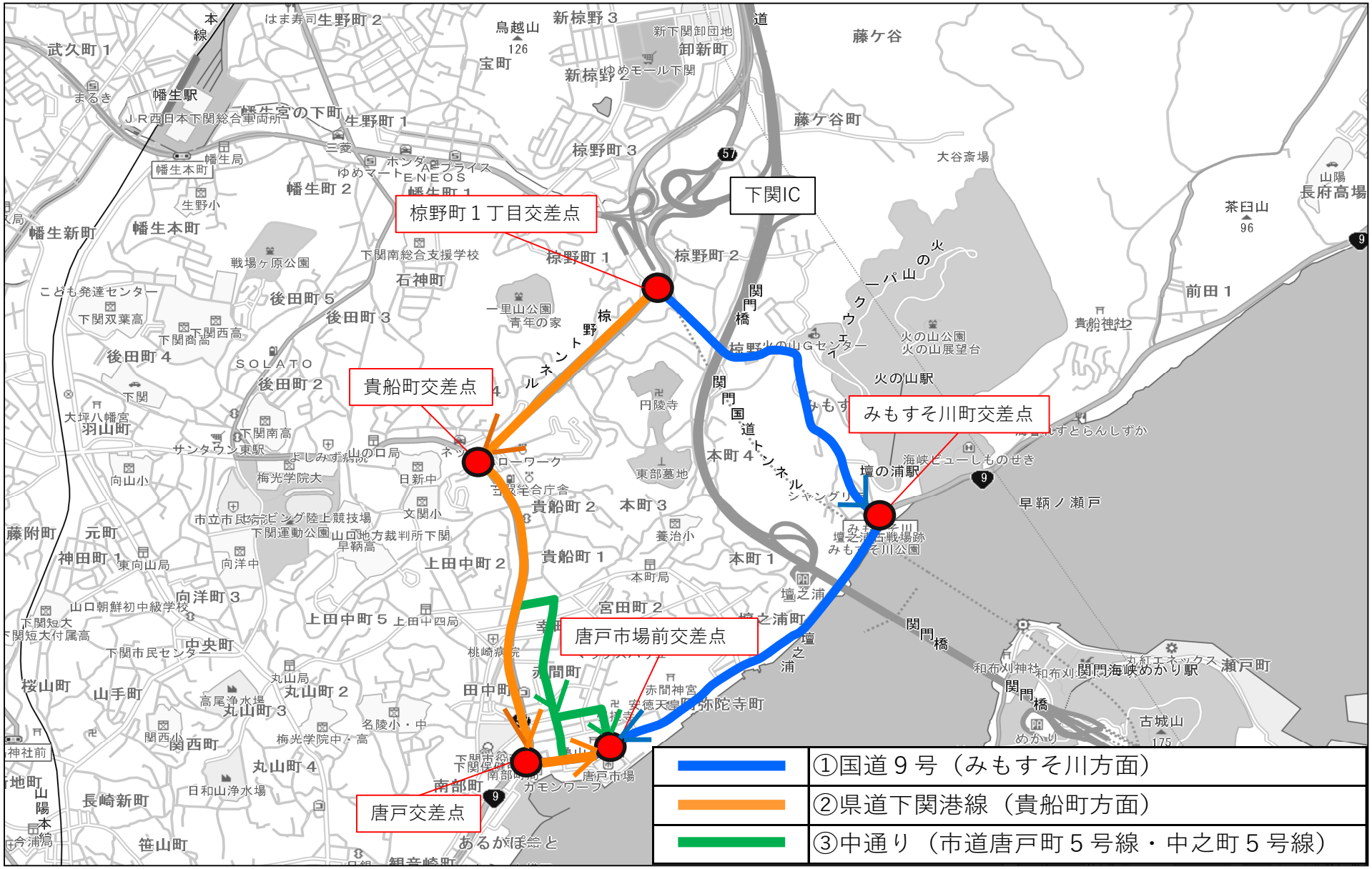
庁内各課で連携して対応を実施

臨時駐車場進入路改良整備について

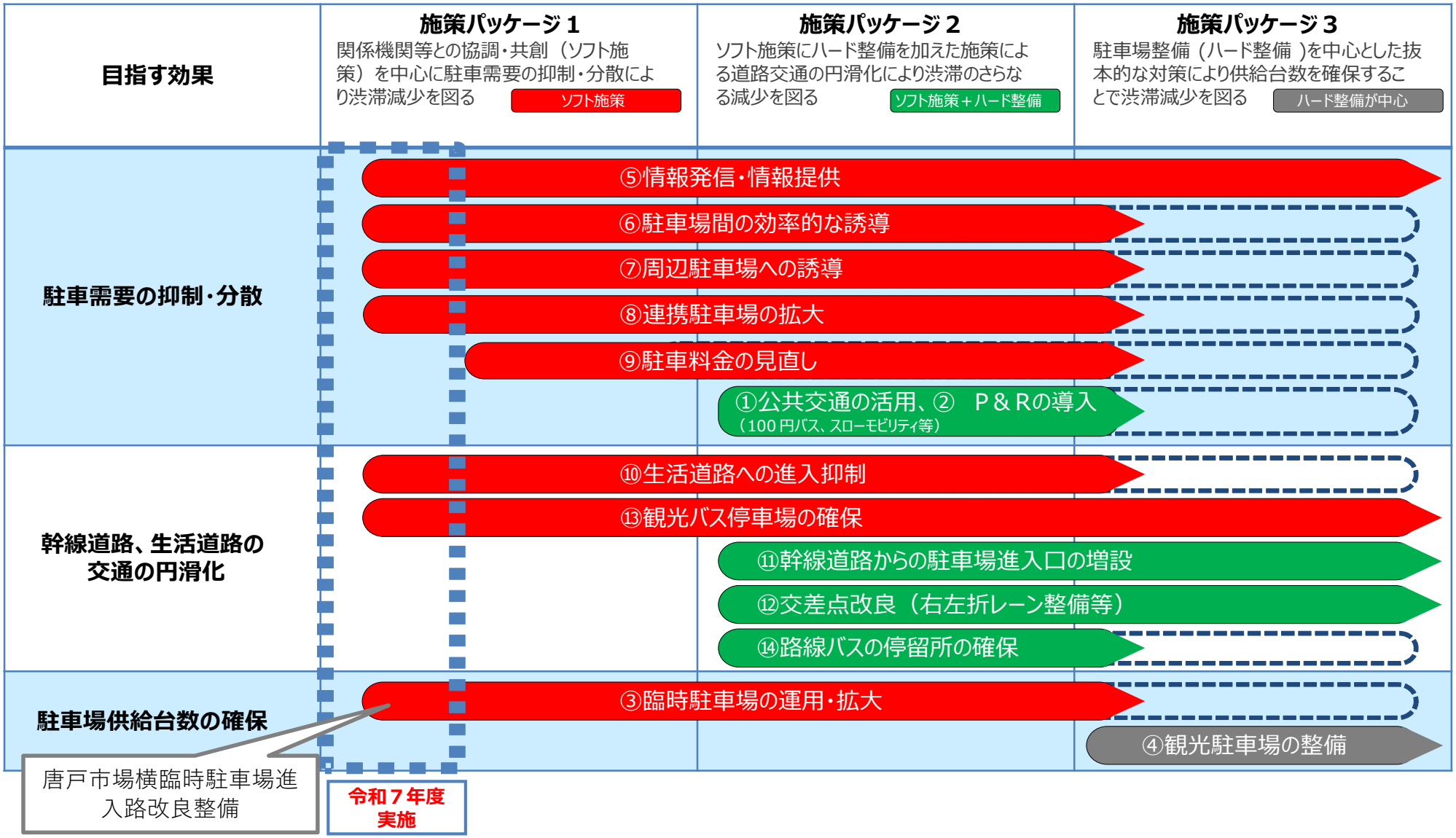


出典：Google マップ

渋滞状況を調査した路線



今後のスケジュール


目指す効果
施策パッケージ１
関係機関等との協調・共創（ソフト施策）を中心に駐車需要の抑制・分散により渋滞減少を図る
ソフト施策
施策パッケージ２
ソフト施策にハード整備を加えた施策による道路交通の円滑化により渋滞のさらなる減少を図る
ソフト施策＋ハード整備
施策パッケージ３
駐車場整備（ハード整備）を中心とした抜本的な対策により供給台数を確保することで渋滞減少を図る
ハード整備が中心
駐車需要の抑制・分散
⑤情報発信・情報提供
⑥駐車場間の効率的な誘導
⑦周辺駐車場への誘導
⑧連携駐車場の拡大
⑨駐車料金の見直し
①公共交通の活用、②　P＆Rの導入
（100円バス、スローモビリティ等）
幹線道路、生活道路の交通の円滑化
⑩生活道路への進入抑制
⑬観光バス停車場の確保
⑪幹線道路からの駐車場進入口の増設
⑫交差点改良（右左折レーン整備等）
⑭路線バスの停留所の確保
駐車場供給台数の確保
③臨時駐車場の運用・拡大
④観光駐車場の整備
唐戸市場横臨時駐車場進入路改良整備
令和７年度実施

資料2-1

第５回　あるかぽーと・唐戸エリアマスタープラン推進会議

議事2

今後の施設整備について

Ａ地区事業・唐戸旅客ターミナル事業（みなと緑地ＰＰＰを含む）



あるかぽーと１番４０事業（A地区）民間事業者公募の結果について

１．経緯

〇あるかぽーと１番４０において、現事業者と契約している事業用定期借地権設定契約が令和９年３月に満了することから、令和７年７月１４日から令和８年１月１６日の期間で事業者公募を実施した。
〇本公募に４者から応募があり、令和８年３月１９日に「選定審査委員会」を開催し、その意見を参考とし令和８年４月８日に現事業者である泉陽興業株式会社を優先交渉権者として決定した。

２．主な評価ポイント

〇本地区での事業実績やアミューズメント施設のメインターゲットがファミリー層であり周辺施設と調和すること。
〇隣接港湾緑地において、みなと緑地ＰＰＰを活用してスポーツ施設や飲食施設を整備する提案が出されたことが、他者より優れていたこと。

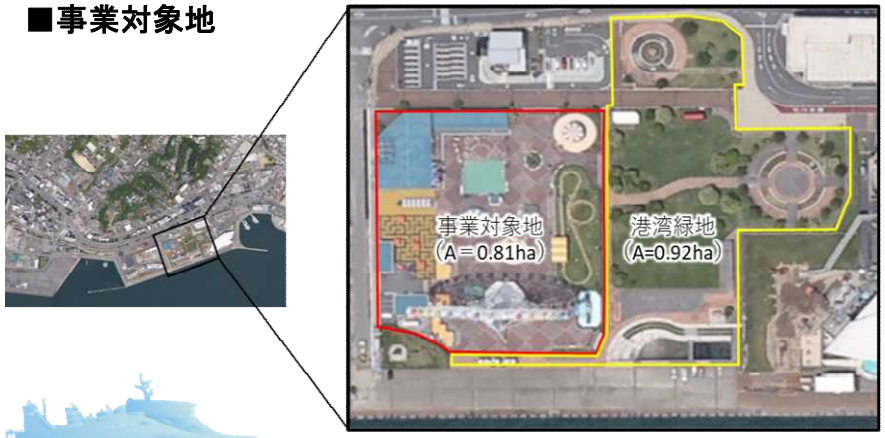
３．事業概要

事業対象地：アミューズメント施設
（大規模リニューアル）
港湾緑地　：スポーツ、飲食施設

4. スケジュール（案）

内　容	時　期
基本協定締結	令和8年9月
事業契約締結、事業用定期借地権設定契約締結	令和9年3月
工事着手（事業対象地及び港湾緑地）	令和9年4月

■事業対象地



■イメージパース



唐戸旅客ターミナル民間事業者公募（案）



唐戸旅客ターミナル民間事業者公募（案）

■事業目的

○事業用地は、「唐戸旅客ターミナル」として、渡船利用者や観光客などの利便性、快適性を向上させることを目的として官民連携により開発を行う。
○現在の事業者との借地契約が、令和10年10月31日付で満了（20年間）するため、以降の事業者の選定を要する。

■事業概要（案）

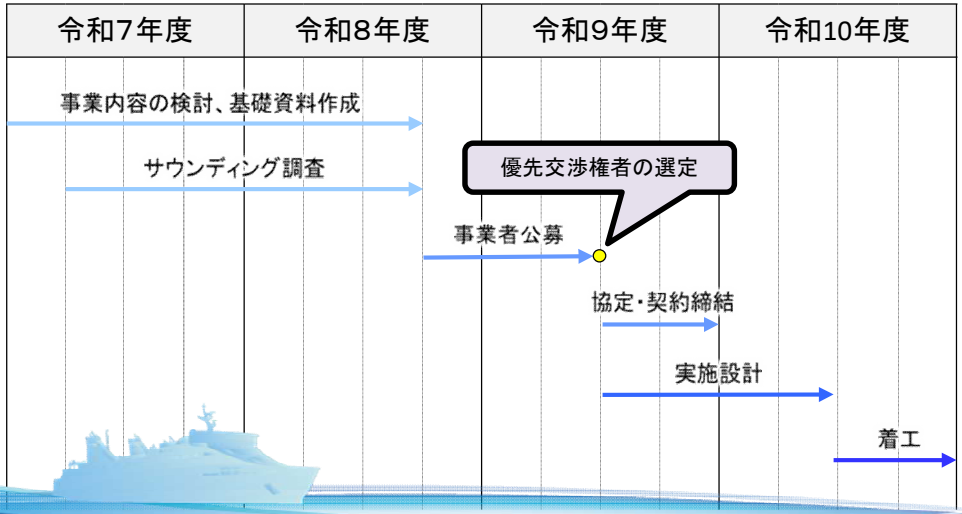
事業用地：あるかぽーと1-13、1-41
対象面積：約2,170㎡
分　　区：商工区
建ぺい率：80%
容 積 率：400%
借地期間：10年以上50年未満
（借地借家法第23条に規定する事業用定期借地権）
借 地 料：固定資産仮評価額に4/100を乗じた額
（約640万円）

■導入を求める機能（案）

収益施設　：事業者提案による
（観光客等の利便性向上のための施設）
公共的施設：待合及び発券所を兼用可能な休憩室（50㎡以上）
インフォメーション機能（パンフレット置場等）
トイレ（男性用、女性用、多目的）



■事業者選定等スケジュール（案）



唐戸旅客ターミナル等　現況写真

【外景】


唐戸ターミナル全景



収益施設（コンビニ）


収益施設（カフェ）


関門汽船資材置場


収益施設（包括支援センター）


駐車場

【内景】


休憩室（待合所）


休憩室（発券機）


観光案内所


トイレ




インフォメーション機能（パンフレット置場等）

資料2-2

第５回　あるかぽーと・唐戸エリアマスタープラン推進会議

議事2

今後の施設整備について

唐戸市場リニューアル事業



【唐戸市場あり方検討業務】

唐戸市場は老朽化や情勢等が変化していることから、市場のあり方について、方針を決定するための前提となる方向性の整理を行うための資料を作成

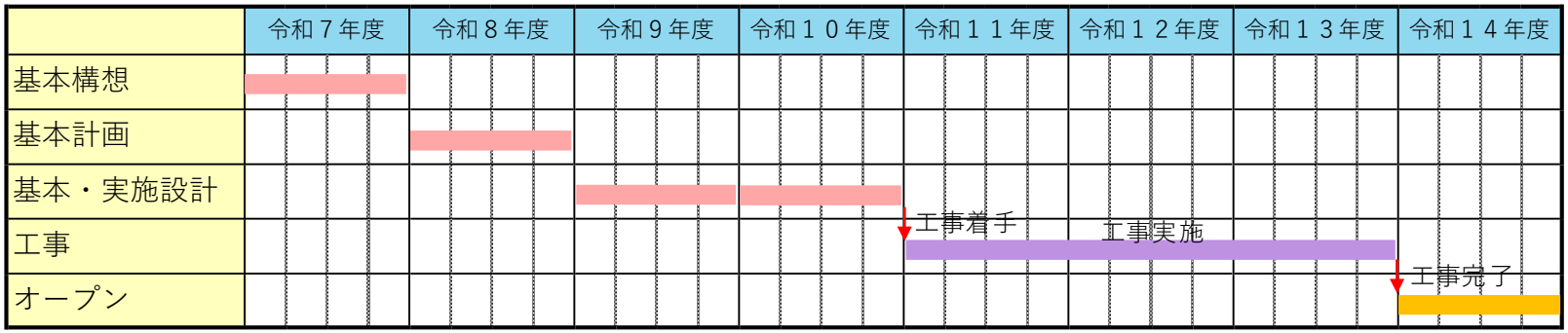
1　唐戸市場の工事手法

・市場には海水取水やイケスの設置が必要であり、マスタープランに基づき唐戸商店街等とのつながりによるエリアの振興も不可欠であることから、唐戸地区に立地することが望ましい
・唐戸市場は鉄筋コンクリートより高品質なプレキャストプレストレストコンクリートでできており、防水や鉄部の劣化はあるが、躯体の健全性は保たれている
・経費的に現施設を大規模改修した方が新たな施設を建てるより有利

工事手法は【大規模改修工事】

2　工事スケジュール

・単なる新築状態に戻すだけでなく、熱気対策や労働環境、衛生環境の改善に加え、使い方の変化に合わせた区割り変更などを行うなど、基本構想や計画策定に２年以上必要とし、計画　を基に実施する基本設計、実施設計も２年要する
・場内業者が休業期間を設けずに改修するには、仮設施設の整備と移転が必要であるため、３年程度の工期を要する
・脱炭素先行地域に選定されており、整備に補助金が充てられるものの、脱炭素に関連する設備の整備は令和１１年度までに完了する必要がある



令和１３年度完成を目指す

３　卸売市場と観光市場を併せ持つ運営方法

・卸売市場だけでなく観光市場としての側面を持つため、多数の来場者による設備劣化や観光対応の負荷による本来の市場運営への圧迫など、建物の修繕も含めた様々な課題があることから、その解決に柔軟に対応できる公民連携の手法も検討するがある

公民連携（ＰＦＩやリース方式）を含めた事業経営の体制を検討

４　リニューアル後の唐戸市場のあり方

・下関の多様な食文化が交流する拠点となる「唐戸文化市場」として、市民にも観光客にも利用してもらえる市場を目指す

市民利用と観光とが共存する市場を検討

【唐戸市場基本構想策定業務】

令和６年度に実施した「唐戸市場あり方検討」による大規模改修の方向性に基づき、令和７年度の基本構想策定業務では、場内事業者や庁内で組織する唐戸市場再整備プロジェクトチームと協議を行いながら、リニューアル後の機能や仮設市場の位置・移転方法、整備に係る事業方式等について検討を実施した。

１　基本構想の概要

（１）施設のリニューアル

・市場施設のリニューアルでは、流通機能を維持しながら、市民利用と観光需要の両立を図る施設づくりを目指し、主に以下の３点の課題に対応

①　レイアウトの再編（滞在場所の不足）

②　夏期の空調（当初想定されていない利用）

③　床やインフラ、屋根防水、金属部の錆などの大規模な修繕

↓

流通・市民・観光の３つの顔を持ち
新築時に戻すだけではない改修を検討

（２）仮設候補地

・あり方検討の候補場所の中から、イケス・海水等の利用・整備や駐車場との連携、商店街等との関係、場内事業者の意向を踏まえて「唐戸市場周辺」を選定

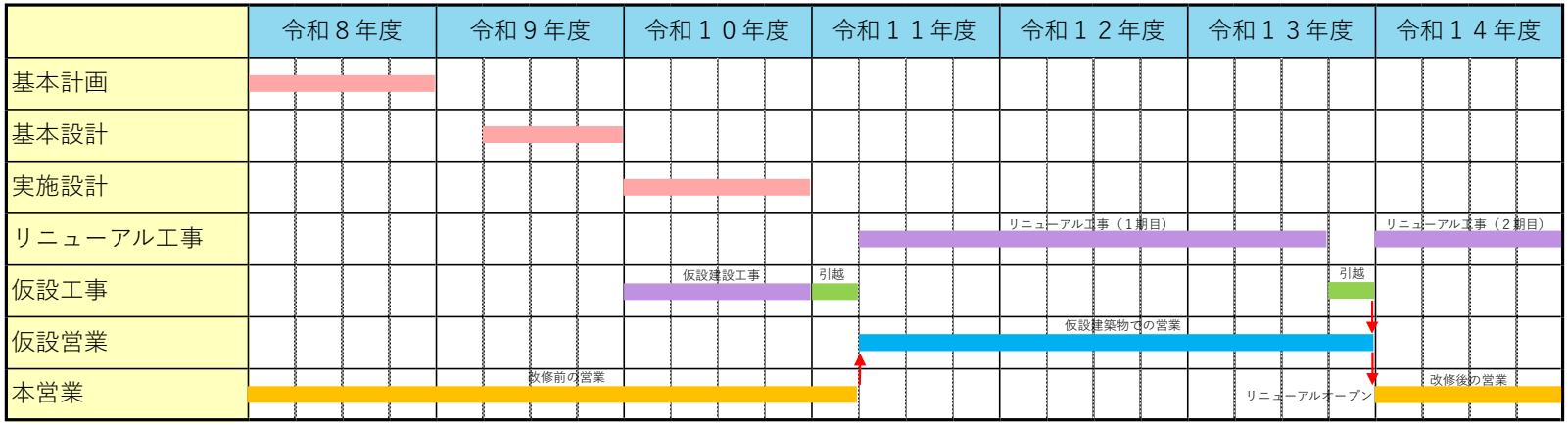
・営業しながらの仮設移転となるため、現状同規模の仮設建築物を設置して店舗等が一斉に移転する「１往復」案と、全体を２期に分け改修工事を行い、およそ半数の店舗等が入れ替わりで移転する「２往復」案を想定

↓

現市場周辺を候補地として今後詳細な配置等を検討

（３）工事スケジュール

・仮設施設により営業を継続しながら工事を実施



令和１３年度完成、令和１４年度リニューアルオープンを目指す

※３階の駐車場及び倉庫は、リニューアルオープン後に工事を実施予定

（４）事業方式の方向性

・令和７年１０月にＰＰＰ・ＰＦＩ官民対話を実施し、施設整備の段階では金利負担やスケジュール等の理由により、メリットは低く、施設整備と運営等をパッケージとする積極的な理由もないため、市主体の事業とすることが妥当

「従来方式」又は「設計施工一括方式」を検討

（５）新しい市場運営とまちづくり

・民間の活力・ノウハウの導入により、市場の維持管理・運営業務の一部について効率的かつ柔軟な運営が実現される可能性の検討が必要

現市場周辺を候補地として今後詳細な配置等を検討

（６）渋滞解消計画

・唐戸市場周辺の渋滞対策については、東臨時駐車場で収集するデータ等も活用しながら、市場周辺駐車場との面的な連携等を検討することが必要

基本計画策定業務において渋滞解消計画を含めた検討

２　基本計画策定業務

令和８年度は、基本構想の方針等に基づき、場内事業者の意見等も踏まえて、大規模改修工事後のレイアウトや空調、仮設建物の種類・配置、事業方式などを詳細に検討し、令和９年度実施予定の基本設計に向けた計画を策定する。

〈主な検討内容〉

①リニューアルに伴う、レイアウトの再編や空調の導入計画の方針決定

②仮設市場の往復回数、配置計画の方針決定

③従来方式・設計施工一括方式などの事業方式の決定

④仮設工事中及びリニューアル後における渋滞解消計画の課題の抽出・検討　等

資料3

第５回　あるかぽーと・唐戸エリアマスタープラン推進会議

議事3
今後のソフト事業について



推進業務：令和８年度の事業スキーム

データの見える化	マーケティングに必要な効果検証・各種データの収集・分析等の実施	**市**
データに基づく施策の実行	みなと協議会準備会によるコンテンツの制作・実証と、市による効果検証・コンテンツの提案・ブラッシュアップ	**民間･市**
マーケティングの体制づくり	官民の役割分担の明確化（実施主体のあり方／継続的に取り組むための財源の仕組みづくり）	**民間･市**

■目指す姿

① 観光消費額の拡大

② 民間投資の誘発

③ 地域主体のエリア運営の実現

推進業務：業務内容

受託者 NTTドコモビジネス株式会社（公募型プロポーザル、参加３者）　**予算額** 18,000千円

データ分析により、回遊性・滞在性・消費額が伸び悩む要因を明らかにし、「稼げるエリア」に向けた取組を支援

1 データ分析に基づく現状把握

人流データ（国内・国外）などの分析により、現状把握と問題点・要因の特定を行い、適切な課題の設定

2 取組の企画･伴走支援･効果検証

施策の実施計画への落とし込みと、取組前後の来訪者数・滞在時間・消費額・満足度の変化の検証

3 ターゲット設定とコンテンツ･プロモーションの提案

関係者でのターゲット像の共有と、下関らしいコンテンツ、エリア一体の情報発信のあり方の提案

4 準備会の活動促進

分析結果の準備会との共有と、自走に向けた役割分担の整理や助言

推進業務：データ分析の取組

各社や関係機関からデータを集め、エリアの状況を分析している（現在分析中）

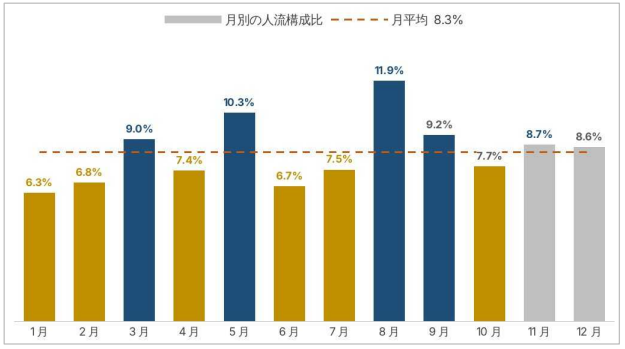
■集めているデータ

売上 | 宿泊者 | 施設利用者 | 人流 | 駐車場 | イベントカレンダー | 天候

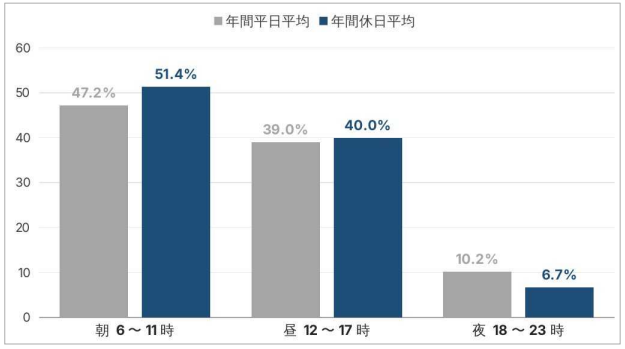
データ統合基盤（ＤＭＰ）に集約し、分析

■分析のイメージ

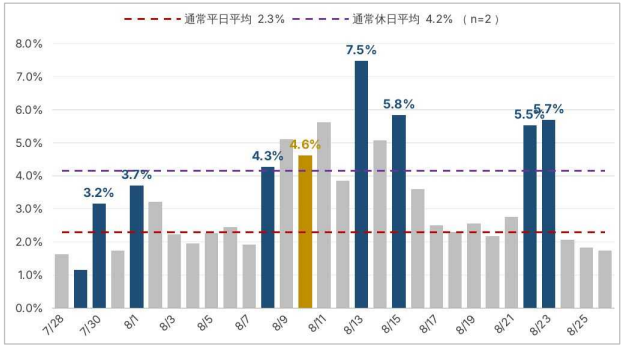
月別の人流（閑散期）



時間帯別の人流（夜間）



イベント開催日の人流



※分析中のイメージ。数値は今後変わる可能性があります（NTTドコモビジネス作成資料より）

ソフト事業の方向性：見えてきた課題

1

イベントが単発で終わる

１日～３日程度の社会実験が多くを占め、イベントが定着せず、エリアの回遊や滞在につながっていない。継続・通年開催の効果も未検証

2

天候に左右されるリスク

海沿いで風が強く、荒天による時間短縮や設置物の撤去が発生（クリスマスマーケット、くじらバルーン）

3

閑散期対策

事業としての採算や、冬季・平日の集客に課題

4

定量･定性データの不足

参加者数やアンケート結果以外に、効果を検証できるデータが不足

■マスタープランとの整合（p.50）

「観光客が多く訪れるイベントがＧＷと夏休みに集中しており、かつ１～３日程度の単発のイベントが中心になっています。イベントやアクティビティを、繰り返しエリアを訪れるきっかけや、観光地としての繁閑の差を平準化する要素として活用することが重要です。」

ソフト事業の方向性　課題①：イベントが単発で終わり、回遊滞在につながらない

方針１　既存のコンテンツを生かした、朝から夜までの過ごし方づくり

エリアには、朝から夜まで楽しめるコンテンツがすでにある

朝	昼	夜
唐戸朝市	海響館	夜の水族館※
活きいき馬関街	カモンワーフ	海峡ファンファーレ※
	はいからっと横丁	
	パレットポート	ライトアップ

※期間限定で開催

既存のコンテンツに、体験型のコンテンツなど単発で終わらない仕掛けを加え、滞在時間と消費の機会を広げる

体験型のコンテンツ
日常的に楽しめる、このエリアならではの体験の提供
例：唐戸浜焼きバーベキュー（社会実験として毎日営業）

時間をずらした演出による回遊
エリア内の場所ごとに時間をずらした演出を行うことで、時間の隙間を塞ぎ、人の流れを作り出す

朝から夜までの過ごし方を伝えるプロモーション
旅の前から現地まで、エリアの楽しみ方の発信
例：エリアの事業者が連携したインフルエンサー等の招致、モデルコースの発信

マスタープランとの関係：有効時間の拡張（p.50）、関門を一体の観光地としてプロモーション（p.54）

ソフト事業の方向性　課題①：イベントが単発で終わり、回遊滞在につながらない

方針２　民間イベントを生かした、エリアの賑わいづくり

これまで緑地で社会実験を重ねてきたことで、民間事業者が自ら緑地を借りてイベントを開催する動きが生まれている。市が単発のイベントを打つのではなく、民間による継続した開催を後押しする

■民間イベントの取り込み

- 民間イベントに連動した周辺事業者の独自企画による回遊促進
- 関係機関との連絡調整や、エリアとしての情報発信による開催の後押し

例：　海辺のシャボン玉ナイト（下関青年会議所主催）×海峡ファンファーレ

例：　カイキョーシーサイドピクニック

■関門一体での検討

- 門司港の取組を取り入れた関門一体での検討

例：下関グランマーケット

令和８年１１月、門司港グランマーケットとの同時開催により下関で初開催。関門海峡を挟み、両岸が一つの会場に。４月・１１月の定期開催を目指す









マスタープランとの関係：イベントの考え方（p.50～52）

ソフト事業の方向性　課題②：天候に左右されるリスク　課題③：閑散期対策

方針３　エリア共通のテーマづくりと、事業者による実践

エリア共通のテーマを定め、これに基づき、各事業者が日々の営業の中で創意工夫をし実践する。いつ訪れてもこのエリアならではの体験ができる状態をエリア全体でつくる



写真：カイキョークリスマスマーケットの装飾



※イメージ

海峡らしさや季節に応じた演出･レイアウト

装飾、ファニチャーの配置、ライトアップの色などの、海峡や季節に合わせた変化

例：冬季の集客に向けた、エリアが連動したイルミネーション（令和９年度に向けて予算要求予定）

各事業者の営業の中での工夫

テーマに沿った飲食の提供や、観光客への統一・連携したインセンティブの付与等、各店舗でできる工夫の共有

例：関門海峡の青をイメージした飲み物、オリジナルのカップ、コースター、ストロー、共通クーポン券

マスタープランとの関係：開発コンセプト「海峡を遊びこなす、朝から夜までめぐって楽しい、現代日本の港まち」（p.19）

ソフト事業の方向性：方針の進め方

準備会の事業者がデータを持ち寄り、分析結果を共通言語として、ともに施策を考え、実証し、結果を共有する

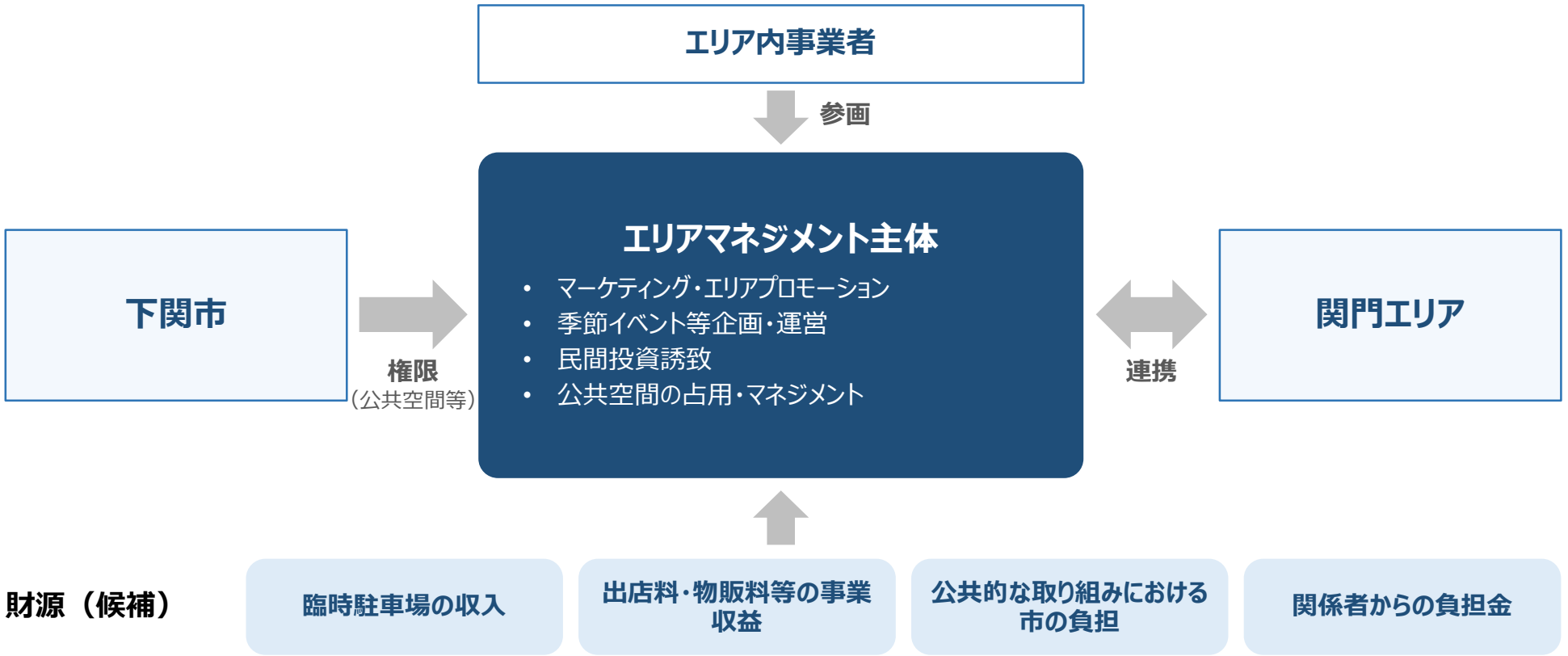
① 現状把握	② 課題抽出	③ 施策立案・実行	④ 効果検証
各事業者のデータと人流等の分析による、季節・時間帯ごとの来訪傾向の把握	準備会での現状分析結果の共有と、エリアの問題要因を確認し、適正な課題の設定	事業者による方針１～３に向けた取組の具体化と実行	取組前後の来訪者数、滞在時間、消費額、満足度の変化の検証と、結果の共有

検証結果を踏まえ、次の取組に向けたブラッシュアップと成果の出た取組の定着

※分析・検証には、人流データ、アンケート、データ統合基盤（ＤＭＰ）等を活用

準備会の方向性：マスタープランが描く将来像

運営・マネジメントフェーズでは、権限と予算を集中させ、エリア価値を高める活動を継続する主体と仕組みが必要



マスタープランとの関係：運営・マネジメントフェーズ（p.60 図表29をもとに事務局で加筆）

準備会の方向性：当面の役割（案）

ソフト事業の方針を、エリアの魅力として定着させる担い手として、次の役割を担う

1 エリア共通のテーマ･デザイン

エリア共通のテーマ・デザインに基づくマーケティング

2 エリア一体の情報発信

エリアとしての朝から夜までの過ごし方の発信と、各事業者の発信の役割分担の整理

3 コンテンツの連携

各事業者が持つコンテンツや各種民間のイベントにおける時間軸や季節ごとの連携

4 データの共有と活用

各事業者のデータと推進業務の分析結果の共有と、次なる取組の検討への活用

市

- 公共空間の利活用の促進
- データ分析･効果検証
- 関係機関との調整

期待される効果　来訪者･滞在時間･消費機会の増加／各社への送客／エリアとしての発信力の向上／各事業者の取組を継続･発展させやすい環境づくり／民間投資の呼び込み

マスタープランとの関係：関門を一体の観光地としてプロモーション（p.54）、運営･マネジメントフェーズ（p.60）

準備会の方向性：段階的な進め方（案）

準備会の役割を段階的に広げる

令和８年度
準備会を軸に、エリアとしての連携を始める

- エリアー体型プロモーションの実施
- 共通のテーマ・デザインに基づくマーケティング
- 各社からのデータ提供（宿泊者数、売上等）と、ターゲット像の共有

令和９年度
取組を広げる

- 共通のテーマ・デザインに基づくマーケティング
- エリアー体型プロモーションの継続・拡充
- エリア内の事業者の参画拡大
- 取組を通じて確認した成果と必要性に基づく、運営体制と財源の検討

令和１０年度以降
取組の成果を踏まえた、継続的な運営体制の確立

- 取組を通じて確認した成果と必要性に基づく、運営体制と財源の確立
- 事業収益や関係者からの負担金と、公共的な役割に係る市の負担との役割分担の確立

マスタープランとの関係：事業化（Step2）から運営･マネジメント（Step3）への移行（p.57）

資料４

議事4　令和8年度 ロードマップ

実行委員会・民間
行政

ゾーン		検討エリア	担当課	２０２５(R７)年度 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	２０２６(R８)年度 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	２０２７(R９)年度以降
各エリア	①	市場周辺遊歩道空間	共創イノベ課 実行委員会	パレットベンチ等設置 唐戸市場企画(市場外部空間活用など)	パレットベンチ等設置	パレットベンチ等設置
	②	唐戸船だまり	共創イノベ課 実行委員会	インフォメーションボード、フラッグ、くじらのモニュメント等設置 BOXシート設置 ランドマーク・シンボル検討	BOXシート設置	BOXシート設置
	③	唐戸市場	共創イノベ課 市場流通課	唐戸市場基本構想策定 コンセプトのブラッシュアップ・導入機能への反映、全体配置・交通動線等の検討 関係者合意形成(分科会・唐戸会) からと市場社会実験(6月)	唐戸市場基本計画策定 唐戸浜焼きバーベキュー 唐戸朝市（業者連合）	唐戸市場基本設計・実施設計 唐戸朝市（業者連合）
	④	海響館及びその周辺	共創イノベ課 観光施設課 実行委員会	海響館改修予定期間(アシカ展示施設等増設工事) 休館期間 季節企画・高付加価値企画 海響館ライトアップ工事 ▲ライトアップ実装	グランマーケット下関（11/6▶8） グランマーケット下関 カイキョーキッチン（8/7▶16） カイキョーキッチン（12/19）	グランマーケット下関 カイキョーキッチン 海響館長寿命化改修・空調設備改修
	⑤	夜間景観	共創イノベ課 港湾局施設課	夜間景観形成のイメージの検討	夜間景観形成のイメージの検討	エリア内イルミネーション
	⑥	A地区港湾緑地	共創イノベ課 港湾局経営課 港湾局施設課 実行委員会	緑地利活用ソフトコンテンツ企画 フィーカ・クリスマスマーケット・ナイトマーケット A地区公募(みなと緑地PPP任意提案)	緑地整備(R8～10年度) 大臣同意手続き ★計画認定 ★ 基本協定 ★A地区優先交渉権者決定 事業用定期借地権設定契約	R9　工事着工 R10春　リニューアル
	⑦	A地区	共創イノベ課 港湾局経営課	事業者公募準備 事業者公募・選定	★A地区優先交渉権者決定 ★基本協定 ★ 事業用定期借地権設定契約	
	⑧	あるかぽーと岸壁	共創イノベ課 港湾局施設課 港湾局振興課 港湾局経営課 実行委員会	岸壁周辺環境整備（岸壁エプロン補修等） 馬関みなとまつり（みなとオアシス） モバイルユニット製作 モバイルユニットを活用した社会実験	ボラード製作・整備(R8～10年度) 馬関みなとまつり（みなとオアシス） パレットポートプロジェクト	馬関みなとまつり（みなとオアシス） パレットポートプロジェクト
	⑨	水際のランドマーク	共創イノベ課 港湾局施設課	A地区の公募状況踏まえ検討 ランドマーク複数案検討　周辺状況との整合　方針決定		
	⑩	渋滞緩和(駐車場施策)	共創イノベ課 都市計画課 (関連部局) 観光政策課 実行委員会	中心市街地渋滞対策 交通円滑化対策(R6年度：まちナビ改修等、R7年度：市場臨時駐車場進入路改良 唐戸市場臨時駐車場実証 岬之町バス臨時駐車場活用 渋滞緩和に資する駐車料金のあり方検討	中心市街地渋滞対策 唐戸市場臨時駐車場実証（カメラ式導入） 岬之町バス臨時駐車場整備	唐戸市場臨時駐車場実証（カメラ式導入）
		エリア内移動手段		唐戸市場・A地区と連携した海峡エリア内の移動検討	パーソナルモビリティ等の実証	
		グリーンベルト		基本構想の立案	基本構想の立案	
	⑪	西船溜まり	共創イノベ課	オープンスペース活用の検討	オープンスペース活用の検討	オープンスペース活用の検討
	⑫	岬之町エリア (岬之町地区にぎわいエリア)	共創イノベ課 港湾局経営課	暫定活用検討	暫定活用・検討	暫定活用・検討
関連事業		竹崎・園田線	道路河川建設課	歩道部施工（照明83基） ▲整備完了		
	⑬	南部町６号線	道路河川建設課	歩道部施工（拡幅、舗装美装化、照明等）	歩道部・車道部施工（歩道拡幅、舗装美装化、照明、ﾍﾞﾝﾁ等）	歩道部施工（街路樹、照明）
		南部町８号線	道路河川建設課	歩道部施工（拡幅、舗装美装化、照明等）	歩道部・車道部施工（歩道拡幅、舗装美装化、照明、ﾍﾞﾝﾁ等）	歩道部施工（街路樹、照明）
		岬之町８号線 三百目本町線	道路河川建設課			歩道部・車道部施工 （歩道拡幅、舗装美装化、照明等）
		唐戸町５号線	共創イノベ課 道路河川建設課	歩道部施工(ｱｰｹｰﾄﾞ撤去)	歩道部施工(拡幅、舗装美装化、照明、ﾍﾞﾝﾁ等)	歩道部・車道部施工 （歩道拡幅、舗装美装化、照明、ﾍﾞﾝﾁ、街路樹等）
	⑭	サイン計画	共創イノベ課 都市計画課 観光施設課	歩行者系サイン整備(～9年度施工完了予定) 観光情報サイン見直し検討		
	⑮	歴史的建造物等ライトアップ ⇒赤間神宮、日清講和記念館、亀山八幡宮、旧英国領事館、大歳神社	共創イノベ課 都市計画課	照明デザイン、工事 ▲整備完了 (赤間神宮、日清講和記念館) ▲整備完了 (亀山八幡宮、旧英国領事館、大歳神社)		
	⑯	ロンドンバス (唐戸エリア公園整備事業)	公園緑地課 観光政策課	唐戸エリア公園整備方針検討	唐戸エリア公園整備方針検討	R9年度以降 ロンドンバス移設の検討
全体	⑰-1 ⑰-2	マスタープラン推進 エリアマネジメント	共創イノベ課 実行委員会	マスタープランの推進・財源と権限に関する合意形成と仕組化 カイキョーリボーンプロジェクト実行委員会 みなと協議会準備会の立ち上げ・運営	エリアのデータ分析・コンテンツ生成・プロモーション戦略 カイキョーリボーンプロジェクト実行委員会 みなと協議会準備会の運営	エリアのデータ分析・コンテンツ生成 プロモーション戦略 みなと協議会準備会の運営 ▲R10年度エリマネ実装予定